

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	酪農ヘルパー補助事業	事業番号	10133

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	酪農家の休日を確保して酪農経営の安定と農業の振興を図ることを目的に、低廉な料金による酪農ヘルパーの利用促進と円滑な運営並びにヘルパー要員の育成・確保を行う根室酪農ヘルパー利用組合に対する補助金の交付。
成果	酪農家の休日を確保して酪農経営の安定と農業の振興を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	酪農ヘルパー利用組合への補助金交付事務						
	28	酪農ヘルパー利用組合への補助金交付事務						
	29	酪農ヘルパー利用組合への補助金交付事務						
	30	酪農ヘルパー利用組合への補助金交付事務						
	31	酪農ヘルパー利用組合への補助金交付事務						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		540	540	540	540	540	2,700
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	15	15	15	15	15	75
	一般財源		525	525	525	525	525	2,625
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230	
総事業費		1,186	1,186	1,186	1,186	1,186	5,930	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	酪農ヘルパーの1戸あたりの平均利用日数(年間)	23.0日	25.0日	27.0日

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	酪農家の休日を確保することにより、生活の向上に資するとともに、傷病等における緊急時のヘルパー派遣により経営安定が図られる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 酪農家からのヘルパーの要望はかなりある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 酪農家の生活向上を支援する観点から、市が実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 要望は非常に多く、ヘルパー員の確保が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ヘルパー派遣の際に利用料を設定し、酪農家に対し一定の負担があることから妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室酪農ヘルパー利用組合で一定のルールに基づきヘルパー派遣を行っており、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 酪農家の労働負担軽減支援として、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、引き続き酪農経営の安定化支援に取り組みたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 根室酪農ヘルパー利用組合と連携を図り、引き続き酪農経営の安定化支援を図る。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	農業経営基盤強化資金利子補給事業	事業番号	10422

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	農業経営基盤強化促進法の農業経営改善計画等の認定を受けた農業者が借入する農業経営基盤強化資金の実質金利を引き下げるため利子補給を行い、経営改善計画に即して効率的、安定的な経営体を目指すことを目的とする。
成果	農業経営改善計画に示された経営改善を行うことにより、継続的な営農活動が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	利子補給交付金交付事務						
	28	利子補給交付金交付事務						
	29	利子補給交付金交付事務						
	30	利子補給交付金交付事務						
	31	利子補給交付金交付事務						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		4,409	3,767	3,235	2,718	2,237	16,366
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	2,204	1,883	1,617	1,358	1,118	8,180
		地方債						
		その他						
	一般財源		2,205	1,884	1,618	1,360	1,119	8,186
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230	
総事業費		5,055	4,413	3,881	3,364	2,883	19,596	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	貸付件数(農業経営基盤強化資金)	35戸	30戸	25戸

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	農業経営改善計画に示された経営改善を行うことにより、継続的な営農活動が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 農業者の経営基盤強化に対する支援が求められている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 農業経営が厳しいなか、経営改善に伴う施設導入等による融資への利子補給は必要である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 緊急性はない。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 根室市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要領に基づき行っており適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市農業経営基盤強化資金利子補給金交付要領に基づき行っており公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 農業者の経営改善及び営農継続が図られることから有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、引き続き関係機関と連携し農業者支援を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 引き続き関係機関と連携し、農業者支援を図る。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	西根室地区道営草地整備事業	事業番号	12335

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。
成果	自給飼料(草地)の生産性の向上と、生産コストの低減を図り、酪農経営基盤が強化される。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務						
	28	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務						
	29	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務(事業完了)						
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		31,675	38,250	17,500			87,425
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	31,675	38,250	17,500			87,425
	一般財源							
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08			
	職員費(人員×8,081千円)		646	646	646			1,938
総事業費		32,321	38,896	18,146			89,363	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	10aあたりの牧草収量	3,700kg	3,800kg	3,900kg

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	自給飼料(草地)の生産性の向上と、生産コストの低減を図ることによって酪農経営基盤が強化される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望は多い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 本事業は、北海道が事業主体である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 事業参加者からの要望に基づき実施しており妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 事業参加者からの要望に基づき実施しており公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 関係機関や事業参画事業者等と連携し、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係機関や事業参画事業者等と連携し、円滑に事業推進を図る。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	根室東第1地区道営草地整備事業	事業番号	12425

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	草種構成の悪化や収量の低下を防ぎ、生産性の向上と生産コストの低減を図るため、農地の起伏修正を行い、大型農業機械の稼働率の向上と草地の適正な改良を行う。
成果	自給飼料(草地)の生産性の向上と、生産コストの低減を図り、酪農経営基盤が強化される。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務						
	28	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務						
	29	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務						
	30	農業農村整備事業に係る分担金の支出事務(事業完了)						
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		20,000	28,500	32,800	25,000		106,300
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	20,000	28,500	32,800	25,000		106,300
	一般財源							
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08		
	職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646		2,584
総事業費		20,646	29,146	33,446	25,646		108,884	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	10aあたりの牧草収量	3,700kg	3,800kg	3,900kg

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	自給飼料(草地)の生産性の向上と、生産コストの低減を図ることによって酪農経営基盤が強化される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要不可欠であり、要望は多い。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 本事業は、北海道が事業主体である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 事業参加者からの要望に基づき実施しており妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 事業参加者からの要望に基づき実施しており公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 酪農経営において、自給飼料生産基盤整備は必要である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 関係機関や事業参加者と連携し、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係機関や事業参画事業者等と連携し、円滑に事業推進を図る。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(農政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	多面的機能支払交付金交付事業	事業番号	12517

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	農業・農村の多面的機能を発揮するため、根室市に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全を図ることを目的とする。
成果	農業・農村の多面的機能が発揮され、地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全が図られる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	活動組織が取り組む農用地及び対象施設の保安全管理状況現地確認、補助金交付事務						
	28	活動組織が取り組む農用地及び対象施設の保安全管理状況現地確認、補助金交付事務						
	29	活動組織が取り組む農用地及び対象施設の保安全管理状況現地確認、補助金交付事務						
	30	活動組織が取り組む農用地及び対象施設の保安全管理状況現地確認、補助金交付事務						
	31	活動組織が取り組む農用地及び対象施設の保安全管理状況現地確認、補助金交付事務						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		19,218	19,473	19,473	19,473	19,473	97,110
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	14,413	14,629	14,629	14,629	14,629	72,929
		地方債						
		その他						
	一般財源		4,805	4,844	4,844	4,844	4,844	24,181
	人員(人工)		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
職員費(人員×8,081千円)		2,424	2,424	2,424	2,424	2,424	12,120	
総事業費		21,642	21,897	21,897	21,897	21,897	109,230	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	農村環境の保全活動に取り組む農業者数	117名	117名	117名
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	農業・農村の多面的機能が発揮され、地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全が図られる。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 酪農家より地域の共同活動推進の要望がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 活動組織が取り組む計画は、市が確認する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 酪農家の高齢化、担い手不足が加速しており、多面的機能の発揮のために地域活動が必要である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 活動組織の計画に基づき実施し、市が確認を行っている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 活動組織の計画に基づき実施している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全が図られる観点から、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 活動組織との連携を高めつつ、事業推進を図り、地域の共同活動推進に繋がりたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 農業・農村の多面的機能を生かすため、今後とも活動組織と連携し、地域の共同活動、農業生産活動、自然環境の保全の支援を図る。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	上下水道施設課(上水道事業担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	農業用水施設整備事業	事業番号	29004

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-6	農業の振興
	施策目標	自然環境と調和した持続可能な農業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	市民生活や農業生産活動に欠くことのできない「安全で安心な水」を安定的に供給する。
成果	環境への負荷軽減に配慮した「国営環境保全型かんがい排水事業」に取組み安全・安心な農畜産物を供給するクリーン農業への貢献が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備						
	28	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備						
	29	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備						
	30	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備						
	31	国営環境保全型かんがい排水事業負担金及び管路等の整備						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		32,068	24,116	44,498	44,498	48,701	193,881
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他		9,037	15,276		37,479	61,792
	一般財源		32,068	15,079	29,222	44,498	11,222	132,089
	人員(人工)		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	職員費(人員×8,081千円)		4041	4041	4041	4041	4041	20205
総事業費		36,109	28,157	48,539	48,539	52,742	214,086	
維持管理	管理主体		根室市					
	運営方法		直営及び部分委託					
	維持管理費	施設維持費	5,979	5,979	5,985	6,356	6,087	30,386
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	普及率(農業用水・簡易水道)	92.3%	93.7%	95.0%
	有収率(農業用水・簡易水道)	92.9%	94.0%	95.0%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	環境との調和に配慮した安全・高品質な農産物の生産が図れる。
-------------------	-------------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民生活や農業生産活動において欠くことのできないものである。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input checked="" type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設の維持管理等を全面的に委託するため検討を行う。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 耐用年数を超過している老朽管路・施設の更新。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 水道普及率90%で概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 市民生活や農業生産活動において大変重要なものとする。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 料金収益により、安定的な事業経営ができるよう、技術職員の確保や、民間活力による経営の合理化を図りつつ、水道資産を次世代へ継承するため、計画的な更新を進める必要がある。

作成年度 平成27年度